

助成事業実施報告書

団体名 文化・芸術 いきいきネットワーク

代表者・役職名 氏名 代表 佐藤典子



▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

高齢化社会を元気にする
「オペラコンサート」の出前公演

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。)

会員数など。180文字程度まで)

当会の代表が永年、高齢者施設で、コンサートやアクティビティ活動を推進した経験から、専門化によるクオリティの高い、文化、芸術の提供が、高齢者の精神的感動度合いを高め、高齢者が新たな行動や、暮らしを創り出す事を体験した。これをもとに、広く地域に貢献、実践する為のボランティア団体<文化・芸術いきいきネットワーク (通称CAN)>を設立した。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

1. 施設の暮らしは地域との交流も少なく、ましてやクオリティの高い文化、芸術、学びの場は少なく、無気力・無感動な日常を送っている
2. 高齢者の尊厳を第一に考えるべきだが、心の通った、文化性のあるアクティビティの提供は少ない。(効率化優先で画一的暮らしの提供が多く見られる)

以上の現況と体験を踏まえ、<本物の感動が、元気な高齢者に欠かせない>との認識に立ち、プロジェクトを構築、その実践・定着化・拡大を図ります。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

今年度も、高齢者の為の<出前コンサート>を、市内に限らず、近隣地域で実施した。又、一般市民や施設関係者を対象に<オペラレクチャーコンサート>を、今年度も開催し、活動の広がりや啓蒙、定着化を図りました。演目のオペラも豊富になり、どの施設でも、オペラで感動するようになりました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

<実施施設等>

上砂デイサービスセンター	30.5/31	オペラ「羊飼いと狼」と日本の愛唱歌
柴崎学習館	6/23	レクチャーコンサート「オペラへの招待」
特別養護老人ホーム 砂川園	9/18	オペラ「電話」と日本の愛唱歌
南台シニアセンター「敬愛の森」東大和市	11/11	オペラ「魔笛」と日本の愛唱歌

<工夫事項>

・オペラの舞台に、高齢者の皆さんも参加して、楽しめるよう、参加意欲を引き出す演出をした。

- ・出演者との交流の機会を設け、高齢者の楽しみの場を創った。
- ・チラシやプログラムを当会が用意したほか、広報活動や会場作り、高齢者の送迎などを担い、施設の負担・軽減を図った。
- ・「オペラレクチャーコンサート」を実施した。オペラの親しみ易さと、高齢者向きの演目、出前の手軽さと効果を、一般市民と、施設関係者に知って頂くとともに、当会に賛同される方々が生まれ、有効的な活動となった。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

高齢者施設の文化・芸術活動の現状は貧しく、本物のオペラ鑑賞の機会など皆無と言えます。この現状はどこの地域・施設でも同じ状況に有ります。市内に限らず、近隣地域にも理解の促進が必要です。又、一般市民や施設の関係者への理解促進も、まだまだの現状です。こうした現状から、このプロジェクトは、理解促進、継続性、定着化は、不可欠と考えています。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし